

紫塚同窓会報

第40号

発行者 増 淵 忠 行
 発行日 平成27年11月30日
 発行所 栃木県立大田原高等学校
 紫塚同窓会
 印刷所 有限会社光陽社

二年目を迎えて

紫塚同窓会 会長 増淵 忠行



紫塚同窓会の運営について、常日頃、会員の皆さまから賜っております暖かいご理解とご協力のおかげで何とかこの一年を過ごすことができました。

歴史と伝統の重圧を肌で感じながら、無我夢中の一年でした。植木校長先生はじめ母校の教職員、事務職の皆さまにはことのほかお世話になりました。本紙面をお借りして心から御礼申し上げます。

さて、同窓会のこの一年を簡単に振り返って見ますと、昨年秋、那須黒羽カントリーで開催の第13回ゴルフ大会では、奈良からお越しになった近畿紫塚会・八木沢会長が優勝され大変盛り上がりました。11月には本部行事として新たに「霜月懇和会」を立ち上げました。霜月に同窓生が集い、和やかな懇親会をとの願いを込め名づけました。懇親前に講話を計画し、昨年度は池嶋英哲さん(高20回)の「爛の勘どころ」という含蓄あるお話で盛り上がりました。年が明け、新体制初の常任理事会では理事さんまでお声をかけ、幅広く意見を伺いました。

また4月の創立記念式典には国際教養大学の理事長兼学長である鈴木典比古さん(高16回)に講演していただきました。鈴木さんは二年連続で学長が選ぶ「学長ランキング日本一」に輝いている方です。受講された生徒諸君は、大きな刺戟を受けたことでしょう。

現役の生徒諸君は、勉学はもちろん部活動でも大変頑張っております。8年連続で全国大会出場の山岳部を筆頭にソフトテニス部、剣道部、応援団、野球部などの運動部。また、吹奏楽部など文化活動でも活発な活動が目を見えます。

「9回ツアーアウト、ランナーなし」から見事逆転勝利を手にした今年の野球部の活躍は、後世に語りつがれるでしょう。

紫塚同窓会の目的は、会員相互の親睦を深め、かつ母校の教育振興に寄与することです。母校支援についても、皆様の暖かいご理解とご支援を切にお願い致します。

～「新校章」のできた頃～

— 昭和23年の松柏の操 —

大田原高等学校長 植木 洋一



私は、高27回・昭和50年卒業ですが、自分の高校生頃、たまには学帽を被って登校する者もおりました。当然、学帽には校章がついており、私も目にしていたわけですが、正直な所あまり熱心に見た覚えもありません。今年、ある同窓生が校章をバッチにして作ってくださり、私も一ついただきました。集まりには胸につけていくようになり、自然とその由来にも興味をもつようになりました。校章の制定過程をたどり、私なりにその象徴する所を考えてみたいと思います。

現在の校章は、昭和23年に制定されました。上部に松葉、下部に柏の葉が左右対称に配置され、中央下を「高」の文字で締めるというデザインです。この校章が制定されるまで、実は、紆余曲折の顛末がありました。

校章デザインは公募されましたが、校章決定委員会を一位通過した候補作について、高1回卒業の市川六先生の回想があります。「講堂の前にある針葉樹である松と、今はなくなってしまったと思いますが、広葉樹の柏、どちらもおめでたいということで、それをリボンで結び中は空けて大田原のOを現わし高の字はないものだったのです。」(『紫塚』第八七号、大高百年誌p.92) 付言すると、向かって左に松、右に柏、中央に空隙(つまり穴)という、なかなか斬新なデザインでした。

「左右異なる松と柏が呼応し、説明としての高がない方が、おくゆかしく高貴であり、中が空いていることで、なんと今見てもユニークな魅力だと思える」という市川先生の慨嘆をよそに、「教員室で、一人の先生が大反対」、また穴を入れるデザインは大変コストが高くつく等の事情で、現在のデザインに落ち着きました。

デザインの良し悪しはともかく、市川先生のような当時の生徒、一人でも大反対する先生、新校章に寄せる熱い思い、どれをとっても昭和23年という時を感じます。論語に「歳寒うして、然る後松柏の彫むに後るを知る」という言葉もあります。松も柏も、雪霜に耐えて葉を散らさぬ、神聖堅固な操の象徴です。この「質素堅実」を思わせる松柏をあしらった斬新なデザイン、伝統と進取の拮抗する希な時代の風を感じます。

松柏の操は、大高らしい精神性を思わせますが、伝統は常に根本から作り続けねばならない。このような思いを強くした次第です。

2014・15 事業報告

第4回正副会長監事会

日時:平成26(2014)年11月7日(金)
会場:大高小会議室
参加者:増淵会長以下役員、担当教職員

- 今年度から新たに始まる「霜月懇和会」の打合せを行う。

第1回霜月懇和会

日時:平成26(2014)年11月15日(土)
会場:乃木温泉ホテル
参加者:同窓会員、役員、担当教職員

- 今年度からの新規事業である。50名近くの会員・担当職員が参加して会を持つことができた。講師には池嶋英哲副会長(高20回)をお願いしたが、お酒の話しに皆が酔いしれていた。詳しくは後述する講演内容をご覧ください。

第5回正副会長監事会

日時:平成27(2015)年1月16日(金)
会場:ニュー美樹
参加者:増淵会長以下役員

- 常任理事会を前に懸案事項の打合せを行う。

常任理事会

日時:平成27(2015)年2月20日(金)
会場:カシマウェディングリゾート
参加者:増淵会長以下役員、常任理事
植木校長、職員

- 平成26年度事業報告、一般会計・特別会計中間報告は承認された。平成27年度事業・予算案についても承認された。
- 生徒数減に伴い、同窓会入会金が減っているにも拘わらず、支出項目が多く、母校活動補助の予算が従来のようにとれない現状の説明があり、今後検討することになった。

第67回同窓会入会式

日時:平成27(2015)年2月27日(金)
会場:大高体育館
参加者:増淵会長

- 卒業式を控えて同窓会入会式が行われ、増淵会長が式辞を述べた。新入会員は234名、卒業生の総数は28,017名となった。卒業記念品として同窓会から卒業証書ホルダーが授与された。

第1回正副会長監事会

日時:平成27(2015)年4月17日(金)
会場:ニュー美樹
参加者:増淵会長以下役員

- 新年度の活動に向けて打合せを行う。

第113回創立記念式典

日時:平成27(2015)年4月20日(月)
会場:大高体育館
参加者:増淵会長以下役員、会員
生徒、教職員

- 記念式典後、鈴木典比古氏(高16回、国際教養大学理事長兼学長)が記念講演を行う。演題は「私の歩んだ道・・・日本の大学・世界の大学」であった。鈴木氏が歩んできた海外の大学での経験や、日本の大学での教授・学長と行った要職から得られた普段の生活ではなかなか垣間見ることのできない、生徒一人一人に自らの将来を考えさせるような非常に貴重なお話をしていた。生徒の話聞く姿勢も普段よりも数段真剣に耳を傾けていたように見えた。
- 午後の芸術鑑賞会では劇団インクによる演劇「EDDIE」を鑑賞した。迫力ある生のステージに、生徒たちは皆舞台に引き込まれるように見入り有意義な時間を過ごした。

監査

日時:平成27(2015)年4月20日(月)
会場:大高小会議室
参加者:増淵会長、監査、職員

- 菅谷正男・後藤伸一監事が監査を実施する。懸案事項もなく終了する。

十年会第1回準備会

日時:平成27(2015)年5月22日(金)
場所:大高会議室
参加者:増淵会長、担当副会長、教職員
担当年度理事

- 十年会までの進め方について説明をする。また例年の如く総会・懇親会の進行役を高27回とすることが決まる。

第2回正副会長監事会

日時:平成27(2015)年5月28日(木)
場所:大高小会議室
参加者:増淵会長以下役員、担当教職員

- 総会進行について検討する。

総会・懇親会

日 時：平成27(2015)年6月6日(土)
場 所：大田原温泉ホテル龍城苑
参加者：増淵会長以下役員、会員、植木校長以下教職員

- 午後3時から総会、午後4時30分より懇親会が行われた。詳細は後述。

第3回正副会長監事会

日 時：平成27(2015)年8月6日(木)
場 所：ニュー美樹
参加者：増淵会長以下役員

- 会報や第2回霜月懇和会等について、打合せを行う。

十年会第2回準備会

日 時：平成27(2015)年7月24日(金)
場 所：大高会議室
参加者：増淵会長、福田・楨担当副会長担当年次理事、教職員等

- 十年会の進め方等について、担当年次の理事を中心に最終確認をする。

第62回十年会

日 時：平成27(2015)年8月15日(土)
場 所：乃木温泉ホテル
参加者：高7, 17, 27, 37, 47, 57回会員
増淵会長・学校長以下役員、教職員

- 全体会参加者総数は143名。今年も応援団の演舞が好評であった。感想文等は後述。

情報システムのパイオニア
株式会社 **テクノ産業**
代表取締役 秋間 忍 (高16回)
〒325-0033 栃木県那須塩原市埼玉371-8
TEL 0287-62-6010
FAX 0287-62-8998
E-mail: techno@tecowl.co.jp
http://www.tecowl.co.jp




日本整形外科学会専門医
医療法人 **阿久津整形外科**
(リウマチ科・リハビリテーション科)
院長 阿久津 政司 (高37回)
〒329-2727 栃木県那須塩原市永田町3-16 (西那須野駅前)
TEL 0287 (36) 3639(代)

EMGマーケティング合同会社 代理店
(有) 浅井 礦油
代表取締役 浅井 元 (高29回)
〒324-0057 栃木県大田原市住吉町1-14-20
TEL 0287 (23) 3366(代)

セレモニーホールあぶらや
有限会社 油屋 商店
吉川 恵 造 (高7回)
吉川 秀 之 (高34回)
〒324-0051 栃木県大田原市山の手1丁目1番2号
(本店) TEL 0287-22-2219 FAX 0287-23-7863
(ホール) TEL 0287-24-2411 FAX 0287-24-2412

那須の美酒 **池島酒造株式会社**
代表取締役 池嶋 英 哲 (高20回)
池嶋 佑 介 (高52回)
〒324-0036 大田原市下石上1227
TEL 0287 (29) 0011
題字 長嶋 石 城 (高8回)



建築家からの提案「人と環境にやさしい建物」
有限会社 和 泉 設 計
代表取締役 和 泉 卓 哉 (高22回)
〒329-2703 栃木県那須塩原市槻沢322番地9
TEL 0287-37-4871
FAX 0287-37-4872
http://www.izumi-architects.com/

inoe 井上眼科医院
理事長 井上 成 紀 (高12回)
院長 井上 直 紀 (高43回)
〒324-0051 大田原市山の手1-2-11
☎ 0287-22-2514



第1回霜月懇和会

講話「酒の爛どころ」

講師：池嶋 英哲氏（高20回）

- ただ今ご紹介をいただきました高20回卒の池嶋でございます。本日は正装で参りました。この半纏は今は亡くなったのですが、黒羽の先代の紺屋新兵衛さんに染めていただいたもので、お酒をしぼる袋は柿渋で染めますが、それと同じようにこれも柿渋でつくっていただきました。本当はもうちょっとおいた方がいいと言われたのですが、早く着たかったので着ましたら、色が冷たいようになってしまいました。
- まず「桶洗い唄」という酒屋の唄から入りたいと思います。
「は～あ桶がなるかよ～しごきがなるかよ～桶としごきの愛がなる～」
今のは越後流の「桶洗い唄」でございました。
- なぜこんな唄を歌ったかという、私どもの蔵は秋洗いという、これからの酒造りを始める前の清掃作業の最中でございます。本当に天井裏から床下まで全部拭き清め、その後消毒をして、雑菌の繁殖を抑えてから酒造りに入ります。今は三季醸造とか四季醸造とかで一年中つくっている蔵もありますが、私どもは那須の空っ風の寒いのを利用して、雑菌の繁殖を抑えて昔ながらの造りをやっております。
- 昔からの「唄半給金」といって、蔵人は唄が歌えれば半分給料がいただけたという話がありますが、酒屋の仕事というのは割に単調な仕事が多いんですね。それでその単調さを紛らわせるとか、唄によって時間を計ったりするというようなこともあります。それから唄で数を数えるということもございます。ただ漫然と「1、2」とやっていると、何か言われると「あれっ」と思うようなこともあると思うのですが、昔フーテンの寅さんが「四谷、赤坂、麴町、ちゃちゃら流れるお茶の水、粋な姐ちゃん立ち小便」などと言っていましたが、そうしますと「ああ、4までやったんだ。次は5から」ということのように、そんな利点があると思います。
- 栃木県は現在35の酒蔵がございまして、そして酒屋のルーツというのは、栃木県の場合は三つの大きなくくりがございまして、一つは昔からその土地で、土地持ち山持ちお金持ちというタイプが一つ。もう一つは、売り手よし買い手よし世間よしの三方よしの近江商人のタイプ。そしてもう一つが、越後杜氏のタイプ、越後杜氏が地元で酒造りを始めたという、この三つのタイプに分かれます。大田原には六つの酒蔵がございまして、栃木県では一番酒蔵が多い市でございまして、その酒蔵を今のルーツにあてはめると、地元の昔からの物持ち・お金持ちのタイプが、羽田の「藤の盛」の平山酒造さんと湯津上の「菊の里」の阿久津酒造さんの二社、近江商

日時：平成26(2014)年11月15日(土)

会場：乃木温泉ホテル

参加者：増淵会長以下役員、会員、職員等45名

人タイプが大田原の「鳳鸞酒造」の脇村さんと湯津上の「天鷹酒造」の尾崎さん、それから越後杜氏流が黒羽の「旭光」の渡辺さんと大田原野崎の私ども「池錦」の池嶋でございます。ちょうど二つずつに分かれております。その酒がどんなふうに味が違っているかっていうのを試してみるとおもしろいかもかもしれません。



【原稿確認中の池嶋氏】

- 今年から6月の第一土曜日が同窓会の総会でございます。さきほども申し上げましたように、全蔵に大高生がおりますので、みんなから酒を提供してもらいました。せめて乾杯は大田原の地酒でやろうと思っております。是非皆さま方には、今のうちから予定をとっていただいて、大勢参加していただきたいと思っております。
- 酒の始まりなのですが、よく猿酒というようなことを言われます。猿が木の実などをため込んで自然発酵してできたのが猿酒だ、というようなことを言われますが、猿には物をため込む性質はないそうございまして、りすなどがため込んだ物が自然に発酵した物だといわれております。残念ながら飲んだことはありませんが、山の奥へ行くとそんな機会があるのかもしれない。
- 米の酒の始まりというのは、紀元前4世紀頃に日本に米が伝わったというふうに言われておりますが、それと同じくらいに大陸から伝わってきております。昔は自然発酵でしたが、今は発酵という難しい工法、並行複発酵という難しい技術。一つのタンクの中で麹菌が糖類をつくります。その糖類を酵母が食べて、その排出物という格好が悪いのですが、出したものがアルコール。それが一つのタンクの中でできるというのは日本酒だけなわけですね。ですから世界に冠たる発酵技術だと思っております。
- 突然平安時代ということですが、平安時代の貴族はよく酒を飲んだんだそうです。やることがないので、朝から晩まで酒を飲んでたということです。その頃のお酒というのはアルコールがあまり強くない、お粥のようなお酒だったそうです。つまみは動物性タンパク質などというのはとらずに、ただひたすら朝から晩までお酒を飲んでた。その結果起きるのは栄養失調、あとは糖尿病などがあつたそうござい

して、結果若死にする人が多くて、ものあわれとかいう思想はここから出てきたのだそうです。まあ実態を知ると、あまりたいそうな思想ではなかったのだなと思います。ちなみに平安人の特徴といわれております下ぶくれした顔、あれは栄養失調によるむくみだといわれております。本当かどうかはわかりません。あるいは本当なのかもしれません。

- 昔から日本酒をおいしく飲む方法、一番うまく飲む方法、よく言われていますが、「酒は爛、肴は刺身、酌は顔、背中に柱、懐に金」。お酒はお爛のお酒を飲み、そして美人のお酌、四畳半で背中に床柱があり、懐に金があれば安心して酒が飲めると…。確かにもっともです。本日これからの季節にぴったりのお爛の話をしてしたいと思います。
- 爛をしてお酒を飲むというのは、日本では平安時代の『延喜式』、927年にできました書物に書かれております。これによりますと、旧暦ですが9月9日の重陽の節句から翌年の立春の前日、2月3日の節分の日までは、温めて飲むことに決まっていたのだそうです。ですから今日あたりは、お爛した酒を飲まないとならない、まあ罰せられることはないのしょうけれどね。それが一番おいしかったのだと思います。



- 日本人の感性というのは、皆さま方もご存じだと思いますけれども、色に対しても、たとえば青色一つにしましても何十種類もの言い方、色目がございます。お爛の温度というのも何種類かの言い方があります。私の長年の研究で言いますと、世間で言われているのは6種類くらいなのですけれども、それよりも私が今日お話しする温度は5度くらい高めに設定してあります。お爛の酒はすぐに飲むわけではなくて、ついでそれから飲むとか、持っている間のロスとかを考えると、丁度5度くらい高めに設定しているほうがいいのかという気がします。
- まず低い方から日中爛(ひなかかん)、これがだいたい35度くらい。それから有名な人肌爛(ひとはだかん)、これは40度くらい。ぬる爛(ぬる爛)というのは45度。上爛(じょうかん)が50度。熱爛(あつかん)が55度。飛び切り爛(とびきりかん)というのが60度。このくらいの感じですが。酒屋というのは蔵入りでよく酒を飲みますが、夜の仕事の前に夕飯、一杯やって夕飯ですね、そうしますとその後夜でも仕事があるんです。ぬ

る爛とか丁度いいようなお爛で飲んでしまうと、くたびれてますから寝てしまう。そういう意味からいうと、火の出るような熱いお酒を、杜氏は一切そういうのを怒らないんです。ぬるい上爛なんかを出すと、この馬鹿なにをやっているのだ、ということで怒りますが、火がはいってしまうような熱い酒、そうするとちょっと休むとまた酔いが醒めて、普通に仕事ができる、そんな利点もあるみたいです。

- お爛がいいというのは、赤ん坊のミルクをお考えいただきたいのですが、乳は当然温かいですよ、人肌なんていいですが。ミルクも温かくして飲みますよね。そのほうが吸収がいいんだらうと思います。ですからお酒の場合でも、温かいと早く身体になじむ、その分酔いも早い。昔から言われるように「冷や酒と親の意見は後で効く」。その辺のところがあるのではないかと考えております。
- 今はなくなっただらうと思いますが、お爛番、爛番というのがいる。爛助というようなことを言う人もいましたけれども。有名料亭などでも名人と言われた人が必ずいて、その人のつけたお爛を飲むと、これはもうとてもたまらないと、そんなことを言われたものなんです。その名人に聞いた人から聞いたわけではございませんが、極めつけの人肌爛(ひとかみらん)というのを今日はご紹介したいと思います。残念ですが、私は実際にわかりかねるのですが、隣に寝ている女の人、当然いつも寝ている人ではないと思うのですが、その人の股ぐらにぐっと手を突っ込んだ時に感じるその熱さ、これが本当の人肌爛だと言われております。興味のある方は是非やってみていただきたいのですが、但し張り倒されても私は知りません。
- 昔からありますが、「酒飲めばいつか心も春めきて借金取りもウグイスの声」。お酒を飲みますといい気分になって、借金取りの声もウグイスのような声に聞こえる、ということでございますが、「人酒を飲み、酒酒を飲み、酒人を飲む」こうなりますと、酒に飲まれてしまいますと、百薬の長転じて百悪の長となる。昔のきちがい水ということになってしまいます。その辺は、私も深く反省の毎日でございます。酒一升・水一升と言いますが酒一升飲んだら水一升飲む。それくらいの気持ちで飲んでいきますと、具合もいいですね。ですから日本酒の業界で勧めているのが、「和らぎ水」といって、英語でいうと「チェイサー」ということになるのかもしれませんが、お酒を飲んだら時々水を飲んで、そして身体の中で薄めていただきたい、ということでございます。
- 楽しく無理なく酒を飲んで、そして時々水を飲むことで、健康な酒飲みを目指していただければと思います。「春桜、夏は蛍に秋は月、冬は雪見で暮れは…」いつ、どこで飲んでもいいのが日本酒でございます。細く長いお付き合いをお願いいたしまして私の話を閉じさせていただきます。どうもご清聴有難うございました。

第62回十年会

第62回十年会に参加して

前島 恒夫(高7回)

昭和30年3月に卒業してからはや60年が過ぎて、光陰矢のごとし、6回目の十年会に37名が参加しました。入学年度は創立50周年の記念すべき年であり、卒業の昭和29年度は大きな事件事故等があった年でした。来年は傘寿を迎える我々同期生ですが皆元気で、久しぶりの再会に感激しつつ出席しました。

全体会は初めて乃木温泉ホテルが会場となり、同窓会副会長の司会で開会。増淵同窓会長と植木校長の挨拶等、十年会次第にしたがって進行された。乾杯は我々同期生を代表して吉川恵造氏が元気に音頭をとって開宴となった。懐かしい友との話に感激し、宴会は一段と盛り上がるばかりであった。さらに途中には大高応援団の演舞が入り、初めて拝見したが、その素晴らしい演舞に感動し、迫りに圧倒されもしたが、この姿を拝見すると、一度は甲子園での応援をと願望した次第であります。全体会の最後に久方ぶりに校歌斉唱で「若き生命」を大声で歌い、あの若き時代を思っ

てなお感動をしたことでもあります。全体会后「片岡屋」に移動して普通科同期会を行い、22名が参加して更なる盛り上がりを見せました。我々7回卒は「昭士会」と称して毎年1月下旬に新年会を行い、20名以上の参加者があるが、今回のような十年会の同期会はまた格別で、来年傘寿を迎える者が若人のように過ごした日の思い出話しや、その後社会人として半世紀以上の歳月の流れの中で、各地各職域での経験談も出れば一方では時事放談も出て、大変な盛会ぶりでした。卒業後60年を過ぎた今日、このように盛大に宴ができることに感謝し、また有難くもなりました。最後に来年は傘寿の祝いを盛大にしようと約束をし、出席者が皆元気で再会することを約束して散会しましたが、まだ話し足りないのか、飲み足りないのか次の会場に向かう者もいました。

最後になりましたが、最初に十年会を企画された先生に感謝し、さらに継続して開催してきた歴代校長先生・同窓会長や役員各位に敬意と感謝を申し上げ、なお大高・同窓会の益々の発展を御祈念いたします。

日時：平成27(2015)年8月15日(土)

会場：乃木温泉ホテル

参加者：高7, 17, 27, 37, 47, 57回会員

増淵会長・学校長以下役員、教職員

第62回紫塚同窓会十年会に参加して

佐々木卓也(高27回)

平成27年8月15日(土)に、乃木温泉ホテルで十年会の全体会が開催され、恩師の稲垣先生をはじめ39名の参加がありました。久しぶりに大高の校歌斉唱や力強い応援団の応援歌を聞き、40年前にタイムトラベルしたような気分になりました。今年は甲子園夏の大会の県予選で、宇高との対戦で、9回の裏2アウトランナーなしの場面から2点のハンデキャップを跳ね返して逆転勝利を勝ち取った試合の話で盛り上がり、大高魂を改めて感じました。

全体会の後に、同期会を錦鯉で開催しました。全体会には間に合わなかった人もいたため、最終的には稲垣先生を含め43名の集まりになりました。今年は同級生の植木先生が大高の校長に就任してきたため、植木校長の激励会も兼ねての同期会としました。御高齢になられた稲垣先生ですが、まだまだ元気で活躍の日々、日頃の活躍と、高校時代の思い出に触れながら挨拶を頂き、その後に植木校長のあいさつを兼ねた乾杯となりました。高校を卒業して40年がたち、皆さんは見た目には頭がさびしくなったり、体格だけは重役クラスになったりいろいろな人が集まりましたが、一堂に会すると40年前に戻ってしまい、話の中だけは高校生気分(高校生は酒が飲めませんが)過ごさせていただきました。10年毎なので、大体の顔ぶれはわかりましたが、中には40年ぶりに初めて参加した方も見受けられ、和気あいあいと過ごす時間はあっという間に過ぎ去り、散会の時間となりましたので、当日、最も遠方の大分県から参加いただきました森田氏に中締めをお願いし、10年後にはまた必ず参加するという強いお言葉をいただき、再会を約束してめでたくなりました。同級生とは、40年ぶりにあってもすぐ打ち解けられるものだと実感させられた学年会でした。

医療法人 博友会
 **原眼科医院**
 HARA EYE CLINIC

院長 原 裕(高20回)

〒324-0042
 大田原市末広1丁目5番27号
 (大田原市農協ヨコ)
 TEL 0287(24)0011

季節の上生菓子
伏見屋菓子店

伏見 功一(高1回)

伏見 雅志(高30回)

TEL 0287-23-^{フシミヤ}2438
 FAX 0287-24-^{フシミヤ}2438

懐かしい顔

大島 徳彦(高37回)

8月15日、3回目の十年会に、多くの同窓生が集まった。受付で37回卒業生を出迎えると、懐かしい顔が続々と集まってきた。今回初めての参加だという者もいたが、すぐに当時のことを思い出した。

全体会では、植木校長先生のあいさつの中で野球部、夏の栃木県大会での宇都宮高校との対戦について紹介があった。9回2アウトからの逆転。あと一人コールに沸く宇都宮高校ベンチと応援席の立場が一気に逆転した。奇しくも37回卒業生には大高野球部を指揮する川又監督がおり、しばらくはその話題で盛り上がった。2年前に春季県大会で準優勝し、関東大会に出場した息子のことも思い出した。我々が在籍中は、部活動においてここまでの盛り上がりはなかったように思う。野球部と応援団の結びつきも強く、今回の演舞もスタンドでのそれとシンクロし感動を更に強めた。今の大高をみると文武両道をしっかり守りすばらしい発展を遂げていると嬉しい気持ちになった。

さて、我々のテーブルは恩師の今井先生をお招きして懐かしい話に花を咲かせた。先生の健康法から数学談義まで、久々に聞く今井節は何とも言えず説得力があった。お孫さんの話になると優しいおじいちゃんの一面も垣間見ることができた。

場所を錦鮎に移し、同期会の席で各人の近況報告が聞けた。中間管理職として一番働きがいのあるポジションにいる者が多い。仕事の苦労話と、子育ての話題が何とも言えず共感を覚えた。大高ならではの3年間を共にに過ごした者だからこそ分かち合えるものがある。こんな素晴らしい十年会が、末永く続くことを祈っている。そして、次回の十年会には、今回以上の参加者が集まることを期待している。

初参加の十年会

大野 秀隆(高47回)

私は前回の十年会は参加しなかったのが、今回が初めてでした。現在は県外在住ですが盆に実家の墓参りを予定していた事、また学年の幹事が同じクラスだった瀬尾君だったこともあり、20年ぶりに会える事を楽しみに参加しました。お目当ての瀬尾君は多忙で来られず、また同学年の参加者は6名と想像していた以上に少なく残念に思いましたが、1年の時に同じクラスだった秋元君と会えた事、参加した同学年の皆と少しずつ話せた事、また恩師の和気広生先生と岡崎孝雄先生と昔話ができ、有意義な時間となりました。会の終わり近くに、実に20年ぶりの校歌を歌いました。正直相

当部分忘れてしまっていて、1番はまともに歌えませんでした。2番3番は思い出して「懐かしいな」と思いながら大音量で流れる音響に合わせて歌えました。世の中の流れが速くなったと言われる昨今、10年後に今の仕事を続けているかもわかりませんが、次回の十年会も参加したいと思います。

十年会に参加して

大塚 将成(高57回)

大高を卒業して10年が経過し、初めての十年会に出席しました。当日は16名の懐かしい顔ぶれと再会することができました。在学当時の面影を多少残しつつ、10年という月日を感じさせずに、すぐにお互いの近況を語らう時間となりました。恩師としてご出席された滝沢昌弘・鈴木陸生先生には2・3年次の担任としてご指導いただきました。先生方はすでに大高を離れ、別の高校で教鞭をとられています。こうしてお酒を片手に在学当時の思い出話で盛り上げられる時間をとても嬉しく感じました。

さて、当日は応援団の演舞披露が行われました。私は在学当時、硬式野球部に所属しており、応援団の野太い声に背中を押されて必死に白球を追いかけていたことを思い出しました。現野球部の監督である川又先生(高37回)は当時コーチとしてお世話になり、部長の佐野君は我々のチームメイトと一緒に汗を流した仲間です。当日の諸先輩方の挨拶でも、本年の栃木県予選の宇都宮高校戦の大逆転劇に胸を打たれた方も多く、大高健児の決して諦めない精神は、諸先輩方の伝統を引き継いでいることを実感しました。1日でも早く、後輩達が甲子園でプレーする姿を願ってやみません。

二次会は近くの居酒屋に移動し、同期だけの肩肘張らない雰囲気でも盛り上がりました。20代後半でようやく仕事にも慣れ、家庭を持つ友人もおり、地元で市役所や教育者として地域に貢献している友人や、東京で頑張っている姿に私も刺激を受けました。次回の参加はアラフォーになって、みんな家庭も仕事も責任が増えている年齢だと思えますが、さらに参加者が増えることを願っています。

最後に、ご多忙の中、開催にあたりご尽力いただきました、同窓会役員・諸先生方・準備委員の皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

タイル工事・石工事・住宅リフォーム・太陽光発電システム



ハシモ株式会社

HASIMO

代表取締役社長 橋本 徹(高32回)

益子 範明(高32回) 荒牧 量(高32回)

山崎 洋(高33回) 橋本 悟(高41回)

渡辺 毅(高45回)

本社/大田原市南金丸2000 TEL 0287-24/0010代

東京営業所/北区赤羽台 東北営業所/仙台市泉区

http://www.hasimo.co.jp



吉川恵造氏(高7回)の
音頭で声高らかに乾杯



応援団の迫力ある演舞に
釘付けになる



豊田充氏(高17回)の
音頭で万歳三唱



全体会における
高57回の皆さん



第62回紫塚同窓会十年会 第27回同期会
平成27年8月15日(錦館にて)

潮田賢治法律事務所

弁護士 潮田 賢治 (高25回)

〒324-0042
大田原市末広1-1-32 三浦ビル2F
TEL 0287-20-1254
FAX 0287-20-1256



O. A. P. E.

ISO-9001・ISO-14001 認証取得

総合設備業

大橋総設工業株式会社

代表取締役 大橋 保 (高29回)

〒324-0057 栃木県大田原市住吉町2丁目4番24号
TEL:0287-23-3100(代) FAX:0287-23-3102

総会・懇親会

総会開催日が一昨年より6月の第一土曜日に固定されたために、今年度の総会は6月6日(土)大田原温泉・ホテル龍城苑で開催された。増淵会長と植木校長の挨拶に続いて栄転者が紹介され、増淵会長からお祝いの言葉と金一封が贈られた。

平成26年度事業報告・会計報告、平成27年度の事業計画・予算は原案通り承認された。財務状況についてもご理解を得られた。さらに十年会や紫塚奨学団等について事務局から説明があった。

◆◆平成26年度一般会計決算報告◆◆

○収入

前年度繰越	1,076,899	繰越金
入会金	2,350,000	入会終身会費
会費	285,000	会員終身会費
寄付金	240,000	寄付金
雑収入	617,543	会報広告費等
合計	4,569,442	

○支出

創立記念費	136,169	講師謝礼等
総会費	74,820	案内葉書等
十年会費	362,385	通信費等
会議費	864	常任理事会費
通信費	91,860	案内葉書等
会報	1,714,780	印刷・郵送費
卒業褒賞補助	100,000	証書ホルダー代
母校活動補助	599,951	無線機、楽器等
慶弔費	190,180	祝金・香典・餞別
支部会等補助	475,400	支部会への補助
旅費	219,880	交通費等
事務費	3,660	消耗品代等
雑費	12,781	郵便振替手数料
予備費	0	
合計	3,982,730	

◆◆平成26年度特別会計決算報告◆◆

収入額	20,466,239	繰越金、利息
支出額	0	
現在高	20,466,239	

◆◆日光杉並木保護基金◆◆

日光杉並木オーナー	10,000,000
-----------	------------

日時：平成27(2015)年6月6日(土)
 場所：大田原温泉ホテル龍城苑
 参加者：増淵会長以下役員、同窓会員
 植木校長以下担当教職員

◆◆平成27年度事業計画◆◆ (前出の事業は除く)

11月30日(月) 同窓会報第40号発行
 11月14日(土) 第2回霜月懇和会
 1月下旬 第4回正副会長監事会
 2月下旬 常任理事会
 2月29日(月) 同窓会入会式(高68回)

◆◆平成27年度一般会計予算◆◆

○収入

前年度繰越	586,712	繰越金
入会金	2,340,000	入会終身会費
会費	350,000	会員終身会費
寄付金	100,000	寄付金
雑収入	733,288	会報広告費等
合計	4,110,000	

○支出

創立記念費	150,000	講師謝礼等
総会費	100,000	案内葉書等
十年会費	400,000	通信費等
会報	1,600,000	印刷・郵送費
卒業褒賞補助	100,000	証書ホルダー代
母校活動補助	600,000	母校活動への補助
支部会等補助	500,000	支部会への補助
慶弔費	230,000	祝金・香典・餞別
旅費	250,000	交通費等
会議費	20,000	常任理事会経費
通信費	80,000	案内はがき等
消耗品費	20,000	祝儀袋等
雑費	30,000	郵便振替手数料
予備費	30,000	
合計	4,110,000	

◆◆叙勲・栄典者◆◆

○平成26年度秋の叙勲

植木 昭二氏(中39回): 瑞宝双光章

手塚 勇氏(高15回): 瑞宝双光章

○平成27年度春の叙勲

辻 史郎氏(高14回): 瑞宝单光章

○当選

相馬 憲一氏(高27回): 栃木県議会議員

関谷 暢之氏(高33回): 栃木県議会議員

山口 恒夫氏(高34回): 栃木県議会議員

齋藤淳一郎氏(高43回): 栃木県議会議員

◆◆平成27年度支部総会等◆◆

○紫塚同窓会宮城支部総会: 6月13日(土)
PARM-CITY131

○紫塚同窓会矢板支部総会: 6月20日(土)
矢板イースタンホテル

○紫塚同窓会東京会役員・幹事会: 7月18日(土)
品川プリンスホテル

○県庁紫塚同窓会総会: 8月5日(水)
ニューみくら

○紫塚同窓会ゴルフ大会会長杯: 10月17日(土)

○近畿紫塚同窓会総会: 11月1日(日)
全日空ホテル

○小川地区紫塚同窓会総会: 11月7日(土)
みづ乃

○紫塚同窓会東京会総会: 11月8日(日)
品川プリンスホテル

○宇都宮紫塚同窓会総会:

医療法人社団 **亮仁会**
那須中央病院

会長 臼井 亮平 (中38回)

〒324-0036 栃木県大田原市下石上1453番地

TEL 0287-29-2121 FAX 0287-29-2501

E-mail: nasuchuoh@mtg.biglobe.ne.jp



住んでよし

心ゆたかな 大田原

有限会社 **藤田材木店**

栃木県大田原市美原3丁目3266-1

TEL 0287 (22) 2617

代表取締役 藤田 昭彦 (高26回)

常務取締役 藤田 晋輔 (高54回)



塩原支店

湯守田中屋

〒329-2921 栃木県那須塩原市塩原6

TEL 0287-32-3232 FAX 0287-32-2989

http://www.tnky.jp

NASU

株式会社 **NASU設計**

代表取締役 篠崎 勝則 (高14回)
一級建築士

本社 〒324-0005

栃木県大田原市練貫364番地67

TEL. 0287-23-7861

FAX. 0287-23-7819

E-mail nasuarc@gaea.ocn.ne.jp

首都圏 **紫塚同窓東京会**

会長 大島 栄寿(高6回)

事務局〒104-0061

東京都中央区銀座8-10-15 大町商事(株)内

TEL 03-3571-1737 FAX 03-3571-1736

URL <http://www.purple-tokyo.sakura.ne.jp/>

【新規会員登録大歓迎】ホームページからお願いします

郷土の発展と共に、一世紀 since 1884



総合建設業

那須土木株式会社

代表取締役 玉木 茂 (高20回)

取締役総務部長 宇山 洋一 (高19回) 取締役住宅事業部長 玉木 勇介 (高52回)

総務課長 桑名 知久 (高37回) 住宅事業部住宅建築課長 矢吹 博司 (高46回)

総務課主任 郡司 康雄 (高45回) 住宅事業部住宅営業課長代理 山村 俊彦 (高26回)

本社/栃木県大田原市中央1丁目13番10号 電話 0287-23-5678(代)

<http://www.nasudokk.co.jp> FAX 0287-23-0355

各支部の活動

紫塚同窓東京会

副会長(新) 関谷 文隆(高31回)

平成27年度における活動の概要についてご報告申し上げます。

梅雨明け直前の7月18日、品川プリンスホテルにおいて、紫塚同窓東京会役員との夏の懇親会が開催されました。ご来賓に本部同窓会増淵忠行会長、大田原高等学校植木洋一学校長、同高高瀬忍先生をお迎えし、東京会大島会長(高6回)以下、51名の東京会役員が、前年度末の執行役員会において検討された議案に基づき、東京会総会へ盛り上げ策その他東京会における今後の方針について討議いたしました。

続く懇親会においては、先輩諸氏の含蓄あるお話もさることながら、折しも夏の高校野球栃木県大会でのわが野球部の健闘振りが話題になって大いに盛り上がり、既に定番となった菊地健男氏(高33回)の指揮のもと、全員で校歌を斉唱し、盛会の内に中締めを迎えたのでした。

11月8日秋雨の中、品川プリンスホテルにおいて第63回の総会・懇親会が開催されました。懇親会の乾杯をご担当いただいた昭和19年卒(中38回)の富川敏夫氏から平成17年卒(高57回)の船山智裕氏まで、60歳以上の幅をもって構成されたOB層に加え、本部同窓会長増淵忠行氏、大田原高校植木洋一学校長、大田原市永山副市長、栃木県東京事務所長小林敦雄氏のご来賓、大女高OG会「千草会」からの参加者を併せ実に120名余が一同に会するという盛大な宴となりました。

恒例の記念講演は、海洋開発機構主任研究員・東大大学院准教授・高野淑識氏(高46回)から「求む男子。至難の旅。わずかな報酬～地球の果て極限生命を探す」と題して南極にまつわる興味深いお話を伺いました。

ご来賓諸氏からご丁寧なご挨拶に続く大島会長の総会挨拶ののち、同窓会年間行事実績【大町正郎副会長(高16回)】・H26年度会計報告【今泉薫副会長(高20回)】がなされ、全員一致の拍手にて承認可決されました。

懇親会冒頭においては、「酒はまだか」の声の中、那須塩原市直送牛乳→ビールで2度乾杯をするという新企画が会場を沸かせました。

アトラクションは田村恒彦氏(高15回)がクラシックギターのしっとりとした妙技を披露された後、大高吹奏楽部生徒16名(責任顧問遠藤佐知子先生)による演奏が華々しく行われ、各パート楽器の奏でるハーモニーが会場いっぱい広がる中、参加者一同、短い秋の一日を楽しむことができました。



今号では紫塚同窓東京会・近畿紫塚会・県庁紫塚同窓会の活動報告を掲載します。宇都宮同窓会・矢板支部・宮城支部の方にはご迷惑をおかけします。



近畿紫塚会

幹事長 松木 守夫(高20回)

初めて近畿紫塚会に出席したのは、昭和56年、兵庫県舞子ビラホテルだったと思います。高20回の3名が出席したところ、おかげでこの会が存続できたと先輩の方々に大変喜んでいただきました。君たちにこの明石海峡に沈む夕日を見せたくて、この会場を設定してくれたとのことでした。実際に当日は素晴らしい夕日でした。

今年の近畿紫塚会、千草会近畿支部合同同窓会は、ANAクラウンプラザホテル大阪で行われました。大高では初参加の方5名で計16名が参加、大女高では1名初参加で計5名が参加、大学生1名の参加もあって、全体では22名の参加者となりました。総会で最高の盛り上がりを見せたのは、会長が総会前夜まで編集されていたという『大田原、今昔』と題する懐かしい映像で、会員の皆さま全員が思わず見とれてしまうほどでした。増淵会長有難うございます、感激しました。おかげさまで大盛況でした。

大田原高校より増淵忠行同窓会長、植木洋一校長先生、磯仁先生、女子高より三森謙次校長先生、和気貴子先生、君島花子先生の参加をいただきました。お忙しいところご出席を賜り、誠に有難うございます。今後ともご支援をよろしく願いします。

県庁同窓会

【出席された増淵会長の報告です】

8月5日(水)ニューみくらで県庁紫塚同窓会の総会が開催されました。栃木テレビで放送されている『歌の王様』司会の「じんのすけ」さんの司会で、大変な盛り上がりを見せました。現在、大高卒の栃木県庁職員は259名。各部門で活躍されています。今年の春入庁した新人も含め、全員参加の校歌斉唱で締めくくりました。



母校の近況

寒稽古

日時：平成27(2015)年1月19日(月)
～1月23日(金)

- 大高らしさが現れ出る伝統行事で、毎年センター試験明けの大寒の時期に5日間行われている。強歩と並ぶ2大行事である。

第67回同窓会入会式

日時：平成27(2015)年2月27日(金)
会場：大高体育館
参加者：増淵会長

- 増淵会長から同窓会員として歓迎するので、同窓会行事に積極的に参加することが願われているとの挨拶があった。入会式終了後、同窓会係の先生から同窓会に関して、①第67回卒業生であること、②年次委員の役割、③主な支部の所在地、等について詳細な説明があった。

平成26年度卒業式

日時：平成27(2015)年3月2日(月)
会場：大高第一体育館

- 植木洋一校長より卒業生代表村本一将君に卒業証書が授与され、新たに234名が我が紫塚同窓会の会員として入会することになった。
- 来賓祝辞の中で増淵忠行同窓会長は「今、世界は、大きな変革に直面しています。皆さんが新しい時代の担い手、立役者として活躍される日も、そう遠くありません。社会の急激な変化に、柔軟、かつ、積極的に対応できる人に成長し、ご活躍されることを切に願うものであります。」と饒の言葉を述べられました。また、卒業生代表で前生徒会長の木村和弥君は答辞の最後に突然の保護者に向けた感謝のことば「お父さん、お母さん育ててくれてありがとう」が壇上より述べられ、本来厳粛な卒業式において拍手などはないところ、同窓会長自ら拍手を送っていただき、会場全体が割れんばかりの拍手につまれました。
- 新しく大田原高等学校を飛翔した後輩たちの卒業を心から祝福するとともに、今後の精進と活躍を大いに期待したい。

平成27年度入学式

日時：平成27(2015)年4月6日(月)
会場：大高第一体育館

- 平成27年度入学式が厳粛な中にも盛大に挙行された。入学許可ではこれから3年間の大高生活への期待と不安をそれぞれが抱きながら、大高に入学できたことの喜びを精一杯の大きな声で返事をしていった。
- 入学許可後の式辞で、植木洋一校長は新入生240名の入学を祝福するとともに、吉田松陰先生が従兄弟にあたる玉木彦助の元服式に贈った「士規七則」から「巧詐(こうさ)文過(ぶんか)を以て恥と為す」という文を贈った。「素地」を鍛え、光明正大な堂々とした人間に成長をして欲しいと新入生に話をした。
- 入学者代表宣誓は沼尾竜汰君が行い、本校の学校生活に対する抱負を力強く述べた。
- また、黒田泰弘PTA会長からは、イエローハットの創業者鍵山秀三郎氏のことばから凡事徹底、可能性を信じ「誰にも出来ない位」たゆまぬ努力を続け、持って生まれた才能を存分に、無限大に伸ばして欲しいと慈愛に満ちた励ましの言葉で祝福した。
- その後、合唱部とともに本校校歌を斉唱し、入学式は厳かな雰囲気の中無事に行われた。

第30回85キロ強歩

日時：平成27(2015)年5月14日(木)
～5月15日(金)

- 強歩を始めてから30回目の強歩である。「質素堅実」の校訓を具現化する最も代表的な行事になった。コース・日程等いろいろな変更を加えた上で現在の形となっている。「原点回帰」をスローガンに、保護者や地域の方にできるだけ負担をかけることなく、自分でできることは自分でやることを目標に掲げ、この行事が50回、100回と続いていくことを願っている。
- 台風は前日までに通過してしまい、当日は台風一過の真夏日との予報であった。雨の懸念はないものの、熱中症の心配をしながらのスタートとなった。この時は少し風もあり穏やかな日和であったが、直後からぐんぐん気温が上がり、昼食の矢板農村改善センターでは31.5度を記録した。塩分不足による熱中症を防ぐため各休憩所に塩を用意した。夜中の黒磯北中学校でも、気温は少し下がったものの例年ほどの冷え込みはなく、生徒たちは校庭で思い思いに休んでいた。ただ日中に暑い直射があったので、かなり厳しいコンディションであったことは間違いない。

- 今回の参加生徒696名、完歩者は640名、完歩率は92.0%であった。雨はなかったものの、強歩史上最高の気温の中で90%を超える完歩率であったことは、素晴らしいの一語に尽きる。完歩した者、残念ながら途中リタイアした者、それぞれ精一杯取り組んでいて、さすがに大高生だなと感じた。
- なお、7月17日(金)に「大田原温泉ホテル龍城苑」において、「大高85キロ強歩第30回記念祝賀会」が開催された。同窓会役員・元校長・PTA役員・教職員など、総勢100名を越す出席者があり、強歩の映像を見ながら30年の重みを感じたことであった。

第50回大高祭

日時：平成27(2015)年9月5日(土)

- 『歴史が変わるのはここからだ!!』のスローガンのもと、第50回大高祭が開催された。残暑の中ではあったが1600人を超える来場者があり、大いに盛り上がりを見せた。



栃木県立大田原高等学校 <http://www.tochigi-edu.ed.jp/otawara/>

なんと洒落な大高祭ポスター！



強歩出発...みんな元気



田園地帯を行く



夜間歩行...ヘッドランプが頼り



歓喜のゴール...手に手をとって

平成26年度卒業生 進路状況報告

(平成27年3月26日現在)

1 平成26年度卒業生 大学入試合格状況 ()内は平成25年度の合格者数

- (1) 大学入試センター試験受験者 231名 (昨年211名)
(2) 新卒国立大学合格者実数(前期、推薦) 76名 (昨年 71名)
新卒国立大学合格者実数(前・後期、推薦) 89名 (昨年 81名)
(3) 新卒公立大学合格者実数(前期・独立) 14名 (昨年 16名)
新卒公立大学合格者実数(前・中・後期) 18名 (昨年 21名)
(4) 新卒国公立大学合格者実数(前期・独立、推薦) 90名 (昨年 86名)
新卒国公立大学合格者実数(前・中・後期、独立、推薦) 105名 (昨年 98名)
(5) 新卒国公立大学合格者最終延べ数(前・中・後期、独立、推薦) 107名 (昨年107名)
(6) 過年度国公立大学合格者最終延べ数(前・中・後期、独立、推薦) 9名 (昨年 8名)
(7) 新卒・過年度国公立大学合格者最終延べ数(前・中・後期、独立、推薦) 116名 (昨年115名)
(8) 主要大学の合格者数(卒業年度)

Table with columns for university type (国公立大, 私立大), year (26年, 25年, 24年, 23年, 19年), and department. Includes a summary row for '就職先' and '就職先'.

2 専門学校 2名 3 就職 2名

母校の進路状況

H26年度 特別活動部の成績

平成27年3月20日現在

平成26年4月~

1. 部活動

Table of sports activities with columns: No., 部活動名, レベル, 大会名, 種目等, 成績, 学年, 氏名. Lists various sports like 山岳部, 陸上競技部, 相撲部, etc.

H26年度 特別活動部の成績

平成26年4月~

平成27年3月20日現在

関東大会以上出場部

Table of activities with columns: No., 部活動名, 大会名(開催地), 種目等, 成績, 学年, 個人氏名. Lists activities like 陸上部, 山岳部, ソフトテニス部, etc.

H26年度 特別活動部の成績

平成27年3月20日現在

平成26年4月~

Table of activities with columns: No., 部活動名, レベル, 大会名, 種目等, 成績, 学年, 氏名. Lists activities like 水泳部, サッカー部, 吹奏楽部, etc.

※山岳部は7年連続全国高校総体出場

2. 生徒会活動

Table of student council activities with columns: NO, 活動部名, 内容, 場所, 月, 学年, 氏名・団体. Lists activities like 美化委員会, 福祉厚生委員会, etc.

H27年度 特別活動部の成績
平成27年7月7日現

平成27年4月~

関東大会出場部

H27年度 特別活動部の成績
平成27年7月7日現

平成27年4月~

1. 部活動

Table with columns: No, 部活動名, レベル, 大会名, 種目等, 成績, 学年, 氏名. Rows include 山岳部, 陸上競技部, 相撲部, 柔道部, 剣道部, ソフトテニス部, 水泳部, 将棋部, 応援団.

※山岳部は8年連続全国高校総体出場

Table with columns: No, 部活動名, 大会名(開催地), 種目等, 成績, 学年, 個人氏名. Rows include 陸上部, 柔道部, 相撲部, 剣道部, ソフトテニス部, 水泳部, 山岳部.

全国大会出場部

Table with columns: No, 部活動名, 大会名(開催地), 種目, 開催日, 学年, 氏名. Rows include 山岳部, ソフトテニス部.

Advertisement for 'まえむろ' (Maemuro) restaurant, featuring 'Sushi・Matsunouchi・Karasu' and contact info for Masahiro Watanabe.

Advertisement for 'ミハル写真館' (Miharu Photo Studio), providing address and phone numbers in Ohtsuru City.

Advertisement for '吉岡食品工業株式会社' (Yoshioka Food Industry Co.), listing products like 'Tenjin' and contact info.

Advertisement for '吉成小児科医院' (Yoshinari Pediatric Hospital), listing Dr. Yoshinari and contact info.

Advertisement for '龍頭山不動院龍泉寺' (Ryūryūzan Fudo-in Ryūsenji), listing the temple and contact info.

Advertisement for '(有)伊藤乳業' (Ito Dairy), listing 'Meiji Milk Sales' and contact info.

Advertisement for '天よし' (Ama-yoshi), listing address and contact info.

Advertisement for 'スナック美樹' (Snack Mikiko), listing address and contact info.

Advertisement for '(有)ナルミヤスポーツ' (Narumiya Sports), listing contact info and address.

紫塚奨学団報告

奨学団係 川又 勝寿

- 本紫塚奨学団は、公益法人制度改革により、公益法人化を目指してまいりましたが、平成26年4月1日付けで、公益財団法人紫塚奨学団として認可されました。新体制を立ち上げるにあたり、ご協力を賜りました方々に深く御礼を申し上げます。
- また、これまで長きにわたり当財団にご尽力いただきました多くの方々に、心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。今後も新役員のもと、更なる財団の発展を目指してまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。
- 当財団は大正7年、多数の同窓生から寄付された1,850円を基本財産として創設され、事業資金には基本財産が生み出す利子と寄付金が当てられます。基本財産の充実については、創設後からの篤志寄付に加えて、昭和57年度に迎えた学校創立80周年記念事業の主たる事業として取り上げられ、同窓会の熱心なご協力をいただき飛躍的に増額されました。その後も同窓会をはじめ多数の同窓生からのご寄付をいただいております。
- 現在の事業内容は、奨学金の貸与と優良生徒の顕彰であります。奨学金は大学入学時に一括で50万円を貸与。26年度は3名に貸与しました。顕彰は、奨学団賞として、優良生徒1名に懐中時計を、3ヵ年皆勤者にネクタイピンを贈っています。
- 公益財団法人となり、今後は更なる事業の充実を視野に入れ、将来、社会に有益な人材の育成に力を入れていく所存であります。同窓生の皆様には従来から奨学団へのご支援をいただいておりますが、今後ともなお一層のご理解とご支援をいただければ幸いです。

◆公益財団法人紫塚奨学団役員◆

- 理事 増淵忠行 植木洋一 篠崎勝則
(9名) 平山亮二 池嶋英哲 伊藤和夫
森島堅二 福田富夫 川又勝寿
- 評議員 大島栄壽 渡辺光男 井上成紀
(11名) 荒川捷彦 鈴木卓雄 佐藤 貴
杉本 広 片柳 洋 岡野繁雄
神島仁誓 飯島秀人
- 監事 印南 隆 高橋知寿

◆(財)紫塚奨学団平成26年度事業報告◆

1 事業

- (1)奨学金貸与 大学生3名 一括50万
- (2)奨学団賞

- ①顕彰者：櫻井篤史…賞状と記念品(金時計)
- ②3ヵ年皆勤(60名)…記念品(ネクタイピン)

2 寄付金に関する事項(26.4.1～27.1.31)

・金澤正邦(高15回)様	30,000円
・井上成紀(現評議員・高12回)様	30,000円
・大林茂俊(高23回)様	50,000円
・寺内孝夫(前校長)様	50,000円
・篠崎勝則(現評議員・高14回)様	30,000円
・平成26年度卒業生	234,000円
合計	424,000円

◆奨学団の口座です◆

- 郵便局振替口座
口座番号：00350-4-11356
口座名：財団法人紫塚奨学団

◆お問い合わせ先◆

- 係教諭：川又勝寿
電話：0287-22-2042(大高)



NISHIDA 西田整形外科医院
整形外科・リハビリテーション科
整形外科専門医
院長 西田 三郎(高30回)
大田原女子高校そば
〒324-0053
栃木県大田原市元町1丁目9-18
TEL 0287-20-3100

ORTHOPAEDIC

宗 教 法 人
大田山光真寺
住 職 黒 田 泰 弘(高35回)
〒324-0051 栃木県大田原市山の手2-11-14
TEL (0287) 22-2033

内科・小児科
鎌田浅香医院
 鎌田美樹雄 (高24回)
 〒324-0043
 大田原市浅香3-3-9
 TEL 0287-22-2703

藤田山円光寺
 住職 神島仁誓 (高24回)
 〒329-2755
 那須塩原市西原町4-5
 TEL 0287-36-0476
 FAX 0287-36-2965

車田医院
 車田孝夫 (高3回卒)
 車田宏之 (高32回卒)
 栃木県大田原市大豆田457-24
 電話 0287(54)0062

中国料理 **応竜**
 田代誠一 (高18回)
 田代尚之 (高47回)
 大田原市城山2-2-12
 ☎0287-22-2801 (代) FAX 23-8383

株式会社
マキ厨房設備
 代表取締役 榎徳和 (高24回)
 栃木県大田原市山の手2-3-13
 TEL 0287-22-2486

奈良スポーツ
 NARA SPORTS
 (株)奈良スポーツ
 代表取締役 奈良靖久 (高12回)
 大田原市紫塚2-2609-97
 TEL 0287-22-2670
 http://www.narasports.com

各種自動車販売・民間車検・石油類販売
(有)小浦モータース
 小浦道夫 (高27回)
 小浦敏夫 (高31回)
 本社 大田原市佐久山2208番地
 佐久山SS TEL 0287(28)0016
 実取SS TEL 0287(28)0480
 車検センター TEL 0287(36)5338


小林内科外科医院
 小林伸久 (高33回)
 〒324-0028
 大田原市富士見1-1606-265
 TEL 0287-23-8870

三九会
 (さんきゅうかい) (高16回)
 東京：親睦会 2月
 大田原：定例会 3月9日
 ゴルフ会：9月3日
 藤田宏和 電話 0287-29-0902
 岡本之良 電話 048-442-4364

 **ビジネスホテルアジサイ**
 BUSINESS HOTEL AJISAI
株式会社 関商事
 代表取締役 関幸一 (高22回)
 〒329-2763
 栃木県那須塩原市井口532-7
 TEL 0287-36-8181 FAX 0287-36-4141

社会保険労務士法人
ソウマ・高根事務所
 東京社会保険労務士協同組合理事長
 社会保険労務士
 相馬誠一 (商3回)
 〒101-0063
 東京都千代田区神田淡路町2-105
 ワテラスアネックス1210号
 TEL 03-3251-5141

首都圏紫塚同窓東京会副会長
 東京栃木県人会副会長
(株)田中建築事務所
 一級建築士 日本建築家協会会員
 代表取締役社長
 阿久津賢次 (高16回)
 本社
 〒108-0074
 東京都港区高輪2-16-45 高輪中山ビル
 TEL 03-5420-2431 FAX 03-5420-2461

安心、安全、美味

那須野ポーク 代表取締役 金澤駿一 (高11回)
 (商標登録5178626号)
 〒325-0052 那須塩原市中央町本店 TEL 0287(63)4129
 FAX 0287(63)8161
 弥生町支店 TEL 0287(63)5673
 http://www.nikunokanazawa.com

ALSOX
ホームセキュリティα
北関東総合警備保障(株)
 代表取締役社長 青木 勲 (高9回)
 専務取締役 笹沼 収 (高9回)
 取締役 高久 均 (高22回)
 本社：宇都宮市不動前1-3-14
 TEL：028-639-0301

お知らせ

◆◆◆母校支援のご寄付を!!◆◆◆

- 昨年の会報39号でもお知らせいたしました、母校のクラス数減少に伴って卒業生の数が減少し、したがって同窓会入会費も少なくなつて同窓会一般会計の収入が減少しております。このため従来のような母校支援が十分に行えない状況であります。
- 同窓会員諸氏のご援助をいただいて、よりいっそうの母校支援に役立てたいと思っております。お振り込みは下記口座に。
- 郵便振込
口座名：栃木県立大田原高等学校内
紫塚同窓会 口座記号番号：00340-0-1748
※お振り込みいただく際には①ご芳名②卒業年次③電話番号をご記載下さい。

紫塚同総会 ホームページ

- URL <http://www.muradou.sakura.ne.jp>
- お問い合わせ、ご意見等はEメールにて
daiko1@mudou.sakura.ne.jp

紫塚同総会 facebook

- 紫塚同窓会のホームページからリンクできます。
- どなたでも発信し、どなたでも受信できるのがfacebookの利点です。
- 同窓会の広報担当を中心として、これまで以上にタイムリーに発信してまいりますので、皆さまのご協力をお願いします。

◆◆◆大切なお知らせ◆◆◆

- 第39号送付に際しても同じお知らせをいたしました、同窓会の予算支出のなかで大きなウェイトを占めているのが、これまで総会や常任理事会でも議論されてきた会報の郵送費です。その結果、次のような提案がなされて進めていくことになりましたので、お知らせいたします。
- 紙ベースの会報の郵送費を抑えるために、紙ベースの会報を従来通り希望するのか、それともホームページで閲覧するから紙ベースの会報は不要かを、会報第40号を送付するに際して伺うことになりました。
- ついては、紙ベースの会報を従来通り希望する方は、同封した葉書に必要事項を記載してご返送ください。なお、切手代はおそれいりますが、お支払いいただきたいと思います。
- 紙ベースの会報が不要な方は、葉書のご返送は必要ありません。
- したがいまして、会報第41号以降については、葉書で紙ベースの会報を希望された方のみを送付することになります。
- また第39号に同封された葉書をすでに本部宛に発送された方は、本部で承知しておりますので、今回同封の葉書を再返送される必要はございません。
- 以上、お手数をおかけしますが、よろしくお取り扱い下さい。

編集後記

○ 今回は『霜月懇和会』を特集しました。同窓会行事の空白期間を埋めるべく初めて実施しましたが、多くの会員のご参加をいただき、ありがとうございます。

○ 発行が遅れたことをお詫びいたします。次号以降、会員の皆さんのお声をお聞きしながら改善していきたいと思っておりますので、ご意見を聞かせください。

【JK】

宇都宮紫塚同窓会

会長 青木 勲 (高9回)
事務局 〒320-0833
宇都宮市不動前1-3-14
北関東総合警備保障(株)内
TEL 028-639-0308
FAX 028-638-8396

第80回総会

近畿紫塚会

平成27年度第80回総会は11月1日(日)
ANAクラウンプラザホテル大阪
会長 八木沢 武雄(高10回)
連絡先 〒614-8262
京都府八幡市岩田松原7
松木 守夫(高20回)
TEL 090-2105-2396

増 淵 忠 行

(高16回)
大田原市若草1-114
TEL 0287-24-0287